

## 認知症作業療法 活動報告（概要）

2015年に東京都作業療法士会の特設委員会として始まり、2018年から常設委員会として、臨床現場の作業療法士以外にも、教員や区の委託職員を含む16～17名の委員で活動している。認知症アップデート研修、「認知症リハビリ最前線!!」と題した都民向け認知症フォーラムを毎年開催。認知症の人と家族にやさしいまちづくりを目指したプラットホームの整備に取り組んでいる。Facebook、Twitter、委員会ホームページを活用し、OT以外にも広く認知してもらえよう情報発信をしている。

認知症の人と家族の生活支援委員会

検索

Facebook、Twitter、ブログでOTの視点や日常を発信中！

## 研修事業

### 1. アップデート研修

年1回、昨年まで3回実施。都士会各ブロックと協力し、企画と講師派遣。211名終了。

### 2. 都学会セミナー開催

主に若いOT向けの内容で企画。毎年100名前後の参加があり、延べ400名が参加。

## 調査事業

### 1. 初期集中支援事業に関する調査

2018年に各自治体窓口、認知症疾患医療センターに実施したアンケート結果から、初期集中支援事業に関与する作業療法士は他職種と比較し約20%と少ない状況が分かった。これらを踏まえ、初期集中支援事業に関わる作業療法士の情報交換会を開催予定。

### 2. 東京都認知症作業療法の実態調査

東京都における認知症作業療法実態を把握するための調査を実施した。回収率が非常に低く、会員数3,000人を超える東京都士会の情報収集に苦戦している。

## 認知症フォーラム事業（都民、関連職種向け）

2016年、2017年は一般都民向けに開催（延べ400名以上）。2018年は介護支援専門員を対象に「作業療法とケアプランナー 認知症の人と家族に対する支援」と題し開催。意見シートから作業療法に関する質問、認知症の人と家族の支援に関する疑問など多くのご意見をいただいた。



## 地域！認知症作業療法事業

「認知症の作業療法から考える地域のつどいの場～図書館の新たな挑戦～」と題して、墨田区ひきふね図書館で開催。

図書館員、地域包括支援センター主任ケアマネージャー、作業療法士がパネルディスカッションを行った。



## 今後の展開

- ・ 初期集中支援事業および地域の活動に、参画しやすい環境を作る
- ・ 東京都および、各自治体から認知症に関する委託事業を受けられるようにする
- ・ 関連職種、家族、当事者等に作業療法の成果を示しながら、継続して連携を深める